

年よりの道

現在の~~道~~に<sup>所</sup>住んで 六十年ほど

道厚と 存したとしまつた

風が吹くと 前々見えなく即ちほどの

景色のほこりと 不ふれり

長肉住んでいゝ木 ասիւտի 道に存、~~其~~

てい存り

人が通るの道 土がふかぬめりな

表通りには存ると 車道がやり 車の行き来は

口がしい

道路がさちんとあつても 事故はあつていり

位新歩道と 音信号のうたに あたりまに

石の~~歩道~~もあつ

歩く二とりの出まの 現在

私の歩く道も ありしに

年よりの道は 経たずにおもしろくない

車道 歩道はあつても 年よりの道は存り

人全そのもりだ

自分で年よりの道を見出し

事故にありあつたりと 氣をうけ存りれば

と思つていろが

年よりの道木 ひとに引のか

とれ取のわ ちかろるい

道きんて年令に因縁をい

といふふいこんども 時折はゆをけす

年よりの道は必要だ

自分で作つていかに学ばば と思つていろ

年道でも有い 人の道と道でも有い

知三の年よりの道

年よりの自身 ちきすまが必要とる

年よりの 年よりの道がみ、天けす

2022  
9/28